

令和7年度学校教育目標～心豊かで、たくましく、主体的に学び、地域に貢献できる生徒の育成～



学校だより

大崎上島町立大崎上島中学校
令和7年12月16日(火) 8号
TEL: 050-3827-2231
<https://bit.ly/42MaWb0>(短縮 URL)



学校の日々の様子をホームページに掲載しています。上記のURL、QRコードを読み取り御覧ください。

大崎上島町PTA連合会教育講演会 (11月21日)

被爆体験 家族伝承者の杉浦圭子さん(元 NHK エグゼクティブ・アナウンサー)から、13歳で被爆した父親の清水良治さんの被爆体験についてお話を聞きました。

父親の清水良治さんは、爆心地から2キロの県立広島商業学校の校庭で被爆し、やけどを負いながらも、校外にある自宅までの13キロの道のりを歩いて帰ったそうです。杉浦さんも、お父さんが歩いた道をたどったそうですが、「負傷して歩くには、大変な道のりだったことだろう。」と話されました。世界に目を向けると、紛争により多くの命が犠牲になっています。今の私たちにできることは、「自分さえよければ」と考えるのではなく、自分の身近に起きていることに関心を向けること。そして、「みんな大切な一人」という精神を大切にすること。このようなことを被爆2世の杉浦さんは、語られました。

父 清水良治の被爆体験



家族 伝承者
杉浦 圭子



各種コンクール・大会入賞

夏休み期間中の課題として取り組んだ、作文、書写、ポスター・コンクールの入賞報告が、学校にたくさん届いています。コンクールによっては、本校において表彰式が行われ、コンクールの主催者の方から、直接表彰していただきました。また、部活動においても、日頃の練習の成果を発揮し好成績を残しています。



中学生「税についての作文・書写」



人権作文コンテスト



社会を明るくする運動作文・標語コンテスト



豊田・竹原郵便局長杯
ソフトテニス大会

生徒会執行部役員選挙(12月9日)

生徒会活動は、大崎上島中学校の発展・向上にとって大切な活動の一つです。12月9日には、次期生徒会執行部役員選挙の立会演説会が行われました。立候補した生徒は、大崎上島中学校を盛り上げていくために生徒会として何をしたいか、自分の言葉で説明することができました。生徒一人一人が、大崎上島中学校の発展・向上を考え、一票を投じました。3学期始業式において、生徒会執行部認証式が行われ、新執行部がスタートします。



2年生 ポッカサッポロ出前授業 (12月11日)

私達にとって身近な大崎上島の特産品「レモン」です。2年生が、出前授業を通して、改めてレモンの魅力を再発見しました。



3年生 商船出前授業(12月2日)

3年生は「運ぶん。届けるん。なんばかかるん?」～流通を支えるネットワークゲームを体験し、モノを効率的に運ぶ仕組みを、オリジナルのボードゲームを使って学びました。



1・2年生 調理実習

家庭科で、1・2年生が調理実習を行いました。自分たちで魚をさばき調理しました。2年生は「鯖の味噌煮・ほうれん草の胡麻和え」、1年生は「鯖の味噌煮・ポテトサラダ」を作りました。



図書委員会の取組「紙芝居」

図書委員の生徒が、各学年で「てぶくろをかいに」(脚本:堀尾青史 絵:二俣英五郎)の紙芝居を披露しました。寒い冬に心がホッと温かくなるストーリーで、生徒は、図書委員の紙芝居に見入っていました。



自作弁当の日(12月15日)

自分で弁当を作ることを通して、健康や食に関する興味関心を高めるとともに、自分の食生活を支えてくださっている人への感謝の気持ちを育み、自立する力を身に付けるために、大崎上島中学校では、毎年、生徒も教職員も一緒に自作弁当に取り組んでいます。

今年度のテーマは、「和食のよさを発見しよう」でした。事前に、大和栄養教諭から、和食のよさや弁当作りのポイントを教えていただきました。キャラ弁にチャレンジした生徒、家族に手伝ってもらった生徒など、様々でした。



あなたのための支援があります

制度・窓口を探す

あなたはひとりじゃない
孤独・孤立対策担当室



18歳以下のみなさんへ
なや
悩みを相談できる窓口をご紹介します。

探してみる

